北側からのイメージ

いよいよ本年度から着手
菊川駅が生まれ変わります

市が進めている南北自由通路整備事業は、令和４年４月１日にJR東海と工事協定を締結し、本年度から着手します。
本号では、新しい駅舎の概要や工事スケジュールなどをお知らせします。

問い合わせ　都市計画課都市計画係（☎35-0932）

南北自由通路および新駅舎外観　南側からのイメージ

生まれ変わる市の玄関口

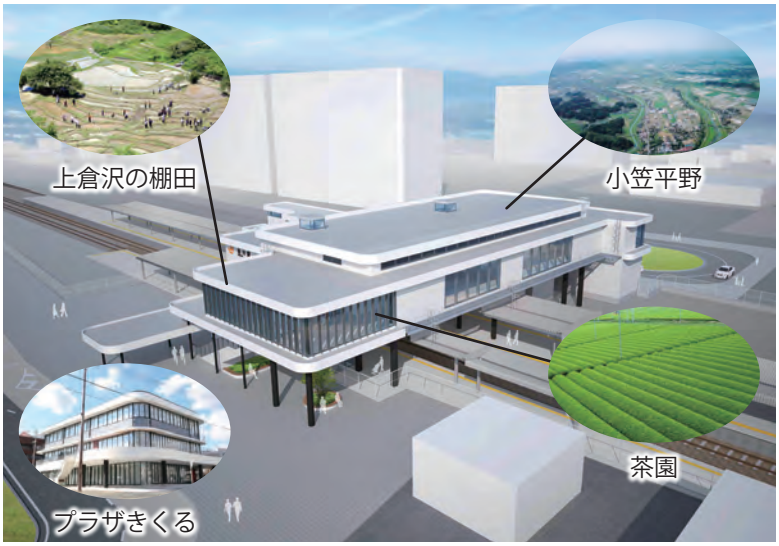
ＪＲ菊川駅は、南北自由通路の整備によって、24時間自由に南北を行き来できるようになります。また、北側からも鉄道への乗降が可能になり、利便性が向上します。

自由通路と駅舎は、自然光を多く取り入れ、自然やまちの風景を感じる明るく開放的な雰囲気とします。階段・通路などの移動空間は、ゆとりある幅や歩きやすい段の高さとし、設備の配置や動線計画など細部にわたりユニバーサルデザインに配慮。「思いやり」のあるデザインとし、誰もが安心・安全に利用できる駅を目指します。

市の顔にふさわしいＪＲ菊川駅の形成を図ることで南北をつなぎ、まちをつなぎ、人の〝わ〟を広げていきます。

南北自由通路のイメージ

デザインコンセプト

プラザきくる（庁舎東館）との連続性
＋
自然と人の営みが生み出す連続性
▼
駅南北をつなぎ、まちをつなぎ、人の“わ”をひろげる

プラザきくるとの連続性を考慮して、白色をメインカラーとしデザインの統一を図りました。令和２年度に開催した高校生デザインワークショップ（常葉大学附属菊川高等学校・小笠高等学校）での意見、県景観アドバイザーからのアドバイスを参考に、市の代表的な原風景を表現。自由通路のガラス窓は茶園の連続性を、なだらかな駅舎全体は小笠平野を、階段部分の３段の大庇（おおひさし）は上倉沢の棚田をイメージしました。